

## 資料 1

### **作業療法(OT)のことを知ってください。**

#### **発達に心配のある子供たちと作業療法が早く出逢える為に**

作業療法士というと、何か作業をさせる人と捉えられることがあります。

0歳～2歳時期のお子さんをお持ちのご家族の中には、「うちの子はまだ小さくて作業ができる時期ではないから、作業療法はまだ早い」と思われる方もあります。

作業療法は Occupational Therapy(オキュペイショナル セラピー)の略で、OTと呼ばれます。オキュペイションというのは、人生の時間を占める、そのひと特有の役割とか、“生きる上で意味のある活動”とかいう意味合いのある言葉です。

0歳の方は 自分の体を確かめ・外の世界を知ることによって一生懸命です。それがオキュペイションでしょう。

1歳の方は自分の体を重力に対抗しながら、前へ、後ろへ進みます。いろいろな物に触、自分の体に触り、何でも自分でやってみたい。声を出し 何かを発信しようとしてます。それも オキュペイション。

3歳の方は 他の方との折り合いをつけ、いろいろな道具を使いこなそうと四苦八苦、言葉をどんどん増やします。それもオキュペイション。

6歳の方は学校で元気に楽しく過ごし、学び、自分を伸ばす。椅子に座って先生の話聞いて、上手くやろうと頑張ります。言葉も使いこなす大人や友達とうまく付き合いたい。それがオキュペイション。

10歳の方は・15歳の方は・18歳では・20歳では・・・、いつか親のふところから社会へ歩みだす。一人の方として、他の方たちと一緒に なにか意味のある時間を過ごす。意味のあることが何なのか、それは周囲の方が決める価値でなくて、本人と、出会った縁ある人々(家族・友人・知人・支える人・支えられる人 とか)の間で良かったなあと思える素敵な瞬間だったりする。

作業療法は、人生の今、3年後、10年後・・・を見通して、目と手・心と体・能力と生活・子供と社会をつなぐために、身につけていったほうが良い課題(作業活動)を、子供とご家族の皆さんが 楽しく面白く取り組めることを支援します。生まれた瞬間から、何歳の方にも、お役に立てるよう努力しています。作業療法で逢いましょう。

～ つぼみ園便りより 抜粋～